

新型コロナウイルス感染症のクラスターの発生について

(令和2年11月18日時点)

1 飲食店関係

【経緯】 令和2年11月13日及び本日、県が、本市内の飲食店においてクラスターが発生したと発表しました。現在、岩国環境保健所により、濃厚接触者などの積極的疫学調査が継続して行われています。

【13日発表の飲食店のクラスターによる感染者の発生状況】

令和2年11月19日10時15分現在

【34人（うち、本市分は29人）】

◆ 利用客

総数	岩国市	和木町	柳井市	広島県
16	13	2	0	1

◆ 店の従業員等

総数	岩国市	和木町	柳井市	広島県
5	3	1	1	0

◆ 濃厚接触者

総数	岩国市	和木町	柳井市	広島県（※注1）
13	13	0	0	—

注1 広島県が濃厚接触者の調査を実施中のため、未定

【PCR等検査の実施状況】

令和2年11月16日11時00分現在

総数	利用客・従業員等	濃厚接触者等
408	68	340

【本日発表の飲食店のクラスターによる感染者の発生状況】

令和2年11月19日10時15分現在

【8人（うち、本市分は8人）】

総数	岩国市	和木町	柳井市	広島県
8	8	0	0	0

【クラスターの状況】

現在は、11月13日及び本日に認定された飲食店を中心に拡大していますが、市域一体への感染の拡がりはない状況です。

【感染者の追跡調査の状況】

的確な調査が実施され、濃厚接触者のみならず、広くPCR検査を実施して、感染者を早期に見つけ出している状況です。

この調査は、検査結果がすべて陰性になるまで、継続して実施されます。

【緊急一斉調査の実施】

商工会議所、料飲組合の協力のもと、本日午後から21日午前中にかけて、麻里布3丁目及び6丁目内の接待を伴う飲食店の従業員を対象に、PCR検査の一斉調査を実施します。

これは、一刻も早く感染拡大を抑え込み、市民の不安を取り除くためです。

【市内にある県立高等学校の状況】

令和2年11月14日に、生徒1人の陽性が判明した、市内の県立高等学校においては、濃厚接触者のみならず、広く接触した可能性のある生徒、教師等117人に対し、15日午後からPCR検査を実施しました。その結果、11月16日、すべての生徒、教師が陰性と判明したところです。

【店名等の公表について】

今回発生した飲食店のクラスターにおいては、従業員はもとより利用客等がすべて把握できている状況です。

利用客等の確定がなされ、追跡調査が確実にできる状況において、店名の公表をしないことは、公衆衛生学上、異見がないものです。

【クラスターとは】

5人以上の感染集団であること。二次感染の拡大が認められること。などを考慮し、県と厚生労働省が協議して、県がクラスターの認定をしています。

【クラスターに対する市の体制について】

クラスター、いわゆる集団的な感染は、できる限り早く、その感染の目を断つことが、感染の連鎖を最小限に抑え、収束させるために極めて重要です。

本市は、クラスター発生に備えて、全職員が行動する全庁的な体制をとって、感染拡大防止対策を実施することを申し合わせ、準備を整えてきたところです。

現在、本市の保健師1人を、岩国環境保健所に派遣するとともに、県庁の新型コロナウイルス対策室に職員が出向くなどして、県、保健所との情報の瞬時の共有、連携を図っています。

【これまでの市の対応】

市は、これまでもホームページにおいて、本市が作成した「新型コロナウイルス感染症の拡大予防のための店舗等営業チェックシート」を掲載し、飲食店等にチェックシートの活用を勧めるとともに、厚生労働省が作成した飲食店等の感染予防対策に係るユーチューブ動画を掲載して、市独自の簡潔でわかりやすい感染防止対策の周知をしてきました。

また、一方で、飲食店を利用する側に立って、飲み会をするときの注意点をチェックシートにして、「新しい飲み会様式」としてまとめ、感染リスクを下げるお願いもしており、お店側、お店を利用する側、双方の感染防止対策の依頼、周知をしてきました。

【更なる市の対応】

このたびの、飲食店関係のクラスターを受け、本市は、さらに踏み込んだ感染防止対策の必要性を認識しています。

対策のひとつとして、飲食店関係の団体の代表者等に、感染予防のポイントを伝えるなど、正確な情報を届けて、適格な感染防止対策の徹底の依頼することを予定しています（現在、方法等について調整中）。

【入院病床、PCR検査体制の状況】

連日、幅広く検査を実施し、早い段階で感染者を的確に把握しているところですが、病床、PCR検査体制ともに、ひっ迫しておらず、適正な対応がとれています。

◇県の医療提供体制の状況

- ・確保病床数 423 床
- ・宿泊療養施設 834 室
- ・PCR等検査件数 2,250 件/日

◇令和2年11月17日現在の陽性患者の状況

- ・入院患者数 55 人
- ・宿泊療養者数 3 人

2 医療機関関係

【経緯】

令和2年11月17日に、岩国市医療センター医師会病院において、医療従事者2人（岩国市1人、防府市1人）の患者が発生したため、すぐに、当該病院において、速やかに医師・スタッフ15人の検査を実施した結果、2人（うち1人は広島県）の陽性が判明しました（県が令和2年11月17日発表）。

これを受け、医師、スタッフ、陽性患者の医師が担当した患者150人～200人に対し、検査を実施した。

令和2年11月17日現在 入院患者 約150人、病院職員 約300人

【院内感染による感染者の発生状況】

令和2年11月19日10時15分現在

【 12人（うち、本市分は10人）】

◆ 医療従事者等

総数	岩国市	防府市	広島県
12	10	1	1

【県の対応】

- ・クラスター対策班の医師2人を派遣し、感染者の発生状況や感染経路の把握、初動対応の助言などを実施する。
- ・県職員を1人派遣し、現場の情報やニーズ把握を実施する。
- ・看護師2人を派遣

【感染経路】

現在のところ、患者への感染が確認されていないことから、院外からウイルスが持ち込まれた可能性が高いと考えられます。

【検査】

11/17～11/18 医療従事者、入院患者を対象とし、200件に上る大規模なPCR検査を実施しました。

今後は、病院内の全職員、全病棟の患者を対象に、約160件のPCR検査を実施予定とされています。

【病院の対応】

令和2年11月17日付けで、病院ホームページに、「病院職員に新型コロナウイルス患者が発生したため、しばらくの間、外来・入院の受け入れ、退院調整を中止すること」を公表。

電話等の問い合わせに対応するとともに、外来診療予定の方で薬等が必要な方には電話等で処方できるようにしている。

感染拡大防止の観点から、入院患者の退院調整は行っていないが、現在、落ち着いている。

【市の対応】

救急医療体制については、岩国医療センター・市立病院の救急告示病院や地区消防組合等関係機関と情報共有の上、連携を図っている。

また、更なる感染拡大を防止するため、医師会病院と協議・調整し、「医師会病院救急センターの患者受入について、しばらくの間停止する」ことを決定。